

外国人との共生を考える 三重の協働円卓会議

とき : 2024年1月31日【水】13:00~17:00 受付 12:20から

ところ : 鈴鹿市ふれあいセンター ふれあいホール

(三重県鈴鹿市南玉垣町6600)

定員100名 先着順 無料 申込期限 2024年1月15日(月)

申込方法 右記のQRコードからお申し込みください



プログラム

ご挨拶

13:00-13:35

主催者代表挨拶
来賓挨拶

公益財団法人三重県国際交流財団 理事長
三重県知事(ビデオ出演)
三重県教育長
三重県経営者協会 副会長
日本労働組合総連合会三重県連合会 会長

金子 聡
一見 勝之
福永 和伸
川村 則之
番条 喜芳

第1部 講演

13:35-14:20



課題提起 「外国人受入れ新時代へ」

公益財団法人日本国際交流センター執行理事 毛受 敏浩(めんじゅ としひろ)

慶応大学法学部卒。米国エバングリン州立大学公共政策大学院修士。兵庫県庁で10年勤務後、日本国際交流センターに勤務。多文化共生・移民政策・草の根国際交流調査研究などに携わる。文化庁文化審議会日本語教育小委員会委員、新宿区多文化共生まちづくり会議委員。

講演1 衆議院議員 中川正春

日本語教育推進議員連盟会長代行
外国人の受入れと多文化共生社会のあり方を考える議員連盟会長

講演2 鈴鹿市長 末松則子

全国市長会副会長、全国市長会 外国人受入れ問題に関する検討会座長代理
厚生労働省 技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議委員

第2部 地域活動報告

14:30-15:10

報告1	株式会社トピア 専務取締役	小林 龍浩
報告2	エイ・シー工業株式会社 代表取締役	カルドゾ アンデルソン
報告3	多文化共生ネットワークエスペランサ 代表	青木 幸枝
報告4	公益財団法人三重県国際交流財団 常務理事兼事務局長	山岡 哲也

第3部 パネルディスカッション

15:20-16:55

テーマ 協働による外国人住民との共生社会の実現に向けて

コーディネーター	公益財団法人日本国際交流センター執行理事	毛受 敏浩
パネラー	鈴鹿市長	末松 則子
	JICA理事長特別補佐(外国人材)	宍戸 健一
	三重多文化共生を考える議員の会 代表	藤田 宜三
	NPO法人伊賀の伝丸 副代表	菊山 順子
	NPO法人愛伝舎 理事長	坂本 久海子
	本田技研工業株式会社 社員	宗沙 ルイス

閉会挨拶 公益財団法人日本国際交流センター 理事長 狩野 功

(17:00閉会)

主催 外国人との共生を考える三重の協働円卓会議実行委員会 後援

構成団体

公益財団法人 三重県国際交流財団 (MIEF)

NPO法人 愛伝舎

三重多文化共生を考える議員の会

公益財団法人 日本国際交流センター (JCIE)

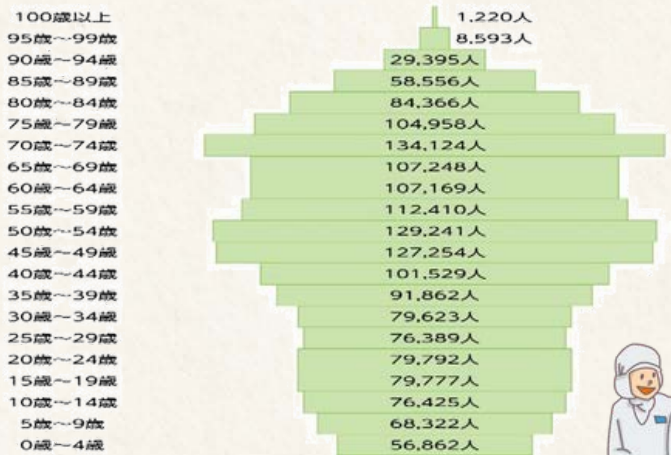
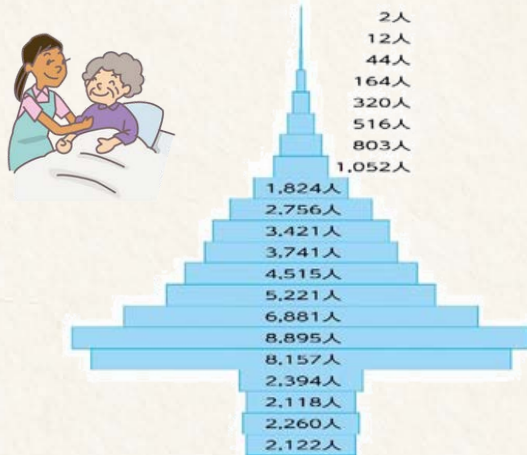
助成 公益財団法人トヨタ財団

三重県 三重県教育委員会 鈴鹿市 三重県市長会 三重県町村会
三重県経営者協会 三重県商工会議所連合会 三重県商工会連合会
三重県中小企業団体中央会 日本労働組合総連合会三重県連合会(連合三重)
三重県教職員組合 国立大学法人三重大学 三重地域留学生交流推進会議
独立行政法人国際協力機構(JICA) 中部センター

三重県人口 1,772,427人(前年より12,541人減)

外国人住民人口 57,312人
(前年より4,279人増)

日本人住民人口 1,715,115人
(前年より16,820人減)



開催趣旨

1990年の日系外国人の受入れから30年以上経過しました。外国人住民に関する就労、日本語教育、医療、防災、地域コミュニティ等の課題は、NPO、ボランティア活動、自治体の取組等により改善しましたが、大きくは進展していません。

2022年12月には三重県の在住外国人は5万7,312人(県内総人口比3.23%)となりました。多国籍化、多年齢化も進展し、日本語が全くできないまま入国する方、地域とのつながりのない方も多く、課題はさらに拡大、深刻化しています。

このようななか、(公財)三重県国際交流財団(MIEF)、NPO法人愛伝舎、三重多文化共生を考える議員の会の県内3団体と(公財)日本国際交流センター(JCIE)が共同主催者となって、「外国人との共生を考える三重の協働円卓会議」を開催いたします。

この会議は、政治、行政、教育、経済界、労働界、市民活動、県民(日本人住民、外国人住民)など、三重県内の関係者が一同に会する課題の共有と協働の基盤形成の場とします。

三重県の現場の実情を踏まえつつ、目的を共有し互いの役割と特性を生かしながら、新たな連携を一つ一つ積み重ね、外国人住民との共生に関する課題解決につなげていくことをめざします。

三重県内の外国人住民の状況 (令和4年12月末)

国籍	県全体	ブラジル	ベトナム	フィリピン	中国	韓国	ペルー	インドネシア	ネパール
住民数	57,279人	13,061人	10,683人	7,723人	6,040人	3,882人	3,144人	2,530人	2,210人
増減率	8.0%	1.3%	13.8%	6.3%	△4.2%	△2.3%	0.6%	47.5%	54.4%

在留資格	永住者	技能実習	定住者	技・人・国*	特別永住者	日本人の配偶者等	家族滞在
人数	18,561人	9,295人	9,109人	4,206人	3,639人	2,530人	2,403人

* 技・人・国：技術・人文知識・国際業務

右記のQRコードからお申し込みください。
定員100名 先着順 (申込期限 2024年1月15日(月))



主催 外国人との共生を考える三重の協働円卓会議実行委員会

代表事務局



Mie International Exchange Foundation
公益財団法人 三重県国際交流財団

514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 TEL:059-223-5006 FAX:059-223-5007
Mail:mief@mief.or.jp URL:http://www.mief.or.jp/

申込フォーム